

親子わくわく

チャレンジ教室新聞

TOSS南国
港free-way
「親子わくわく
チャレンジ教室」
実行委員会

カブト虫とぼく、わたし

親子で作品に感嘆の声！

上手く描けて満足

八月九日(日)一三時半から一六時まで佐古防災コミュニティセンター(大ホール)にて、親子わくわくチャレンジ教室(酒井式絵画教室)を開催いたしました。親子とも笑顔いっぱい教室になりました。

参加したのは、香美市・香南市・高知市・安芸市・南国市・中土佐町の小学生や幼児二十二名とその保護者一三名。絵画教室の題材は子どもたちに人気のクワガタやカブト虫。講師には、徳島県の小学校の教師である井上和子

氏(TOSS徳島)に来ていただきました。井上氏は、どの子どもも満足する絵が描け、達成感や自信をつけさせてくれる酒井式描画指導法を研究しています。的確なアドバイスで、参加した全ての子どもが「上手く描けたよ！」と笑顔で絵を見せてくれました。



教室で子ども達が絵を描くことができるようにする指導法。作品は、図工の教科書にも掲載されている。この指導法を創った酒井臣吾氏は、こう書いている。「七十五歳になる私でさえ、一つのシナリオを創るのに、スケッチも含めれば五十枚以上の絵を描きます。そして何度もシナリオを練り直し、完成したら何度も授業の練習をします。それだけやっていると細かい道筋をつかむことができません。私はシナリオの目的を、「その子なりの最

酒井式描画指導法とは？

高傑作を作らせること」と決めていません。しかも、「名作」を作るのです。そのため筋道を示したものです。

「是是非非、「生きた技術」を学んでください。一つは、教師が描いてみることで、描ける練習をすること、二つは、文章に書けばこれだけのことが、やってみるとかなり

酒井式の造形技術の部分だけ盗んでも子どもたちは成長しません。技術は、子どもの成長のためにあります。子どもの成長に結びつかない技術は、ニセの技術です。子どもの成長、いや教師自身の成長のためにも、教師も笑顔になる。

子どもたちの感想

- ・自分の好きなように自由に絵がかけおもしろかった。
- ・具体的にアドバイスをしてくれてわかりやすかった。クレパスなども気軽に貸してくれた。
- ・上手くかけた。おもしろかった。
- ・クワガタと人のかき方を教えてくれてありがとうございました。また来たいです。
- ・みんなと絵をかけてうれしかった。
- ・クレパスで色をぬって、とてもいろんな色がでたから楽しかった。

保護者の感想

- ・予想以上の出来にびっくりしました。
- ・カブトムシやクワガタの描き方のコツがわかり、描く楽しさを体験できたので、他の虫も描いてみたくなりました。
- ・低学年から高学年まで、同じ題材でこんなに長い時間集中して描けたのも色々な手立てを考えられているからだと思います。親子だから、完成に近づけたのもよかったです。
- ・親子で、あーでもない、こーでもない、と言いつつながらも仕上げることができました。意外と集中力が何度も途切れるというところに改めて気づかされました。
- ・楽しく絵がかけて本当に良かったです。なかなかない絵の教室なので、また是非開いて下さい。
- ・クレパスで絵を描くという発想、絵の具が多いかなあや絵を貼りつける、カラーの用紙を使うという発想がなかったもので、新しい発想でした。
- ・虫のかき方、顔のかき方、綿棒を使った色のぬり方等、これからは役に立るところがでそうなので、とても良かったです。
- ・出来上がった作品は、額に入れたいくらい上手くてできて嬉しかったです。
- ・絵画教室というものに初参加だったので、勝手がわからず子どもも戸惑っていましたが、優しく親切に教えていただきました。最後は笑顔になりました。ありがとうございました。
- ・とても勉強になりました。夏やすみの絵の宿題に役立てようと思います。貴重な場を提供してくださりどうもありがとうございました。
- ・綿棒を使ったりしたことがなかったもので、とても新鮮でした。家では、汚れたら汚くなるのが嫌なので、とても良い体験ができ良かった。夏休みの宿題の参考にします。



「こんなに描けたよ！」自分の作品を堂々と手にして、「はいチーズ！」